

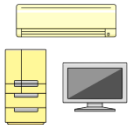
自由研究ティーチャーズガイド
テーマ:省エネ

 自由研究テーマ

年 組 番

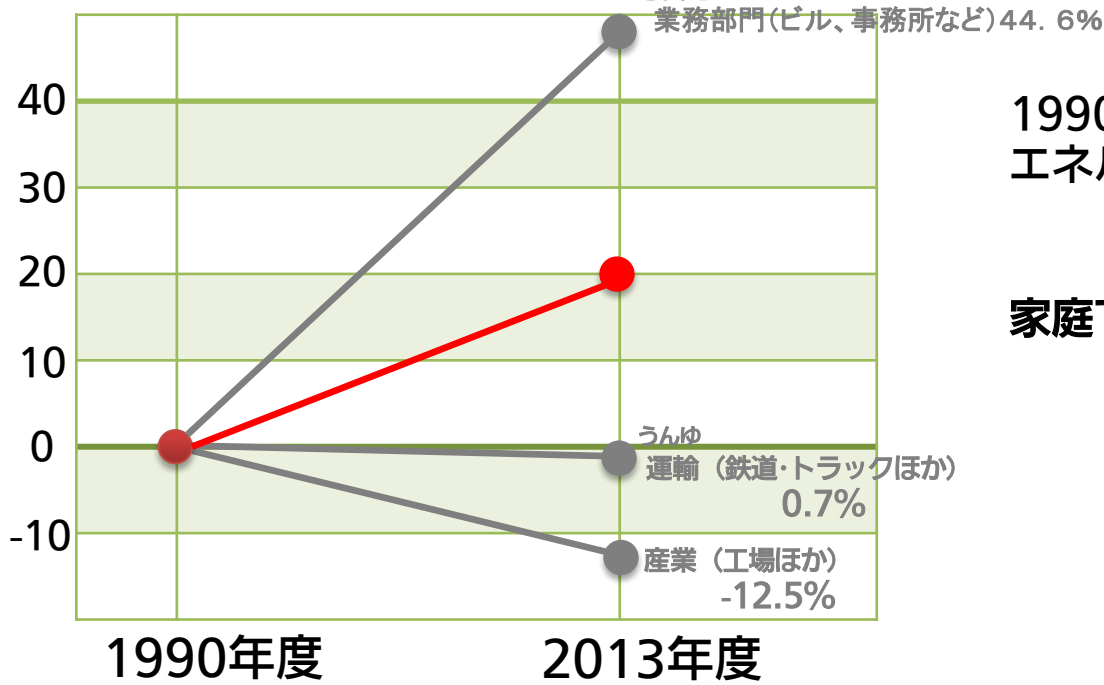
名前

省エネ



日本のエネルギー消費のうつりかわり：調べて書こう

日本のエネルギー消費部門別伸び率



1990年度をゼロとしたとき、日本のエネルギー消費は2013年までの23年間で

家庭では約 **20.0** %増えている。

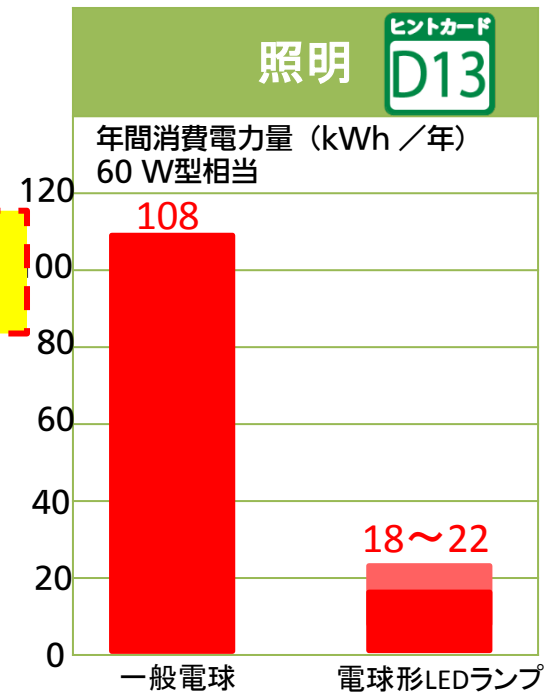
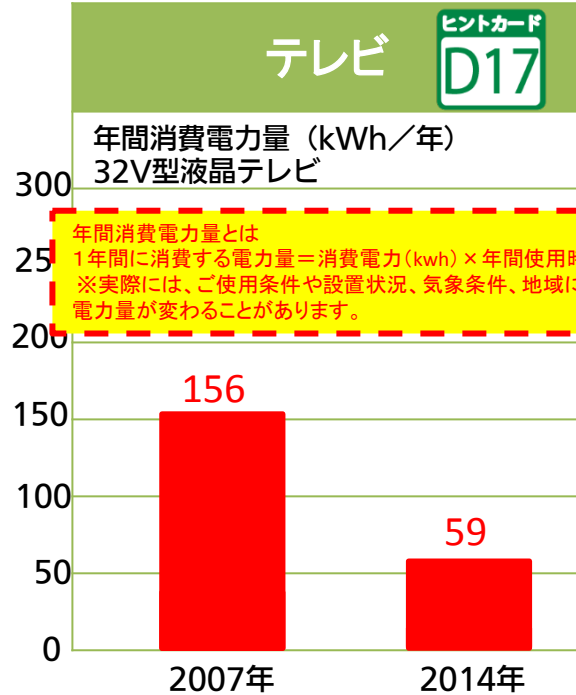
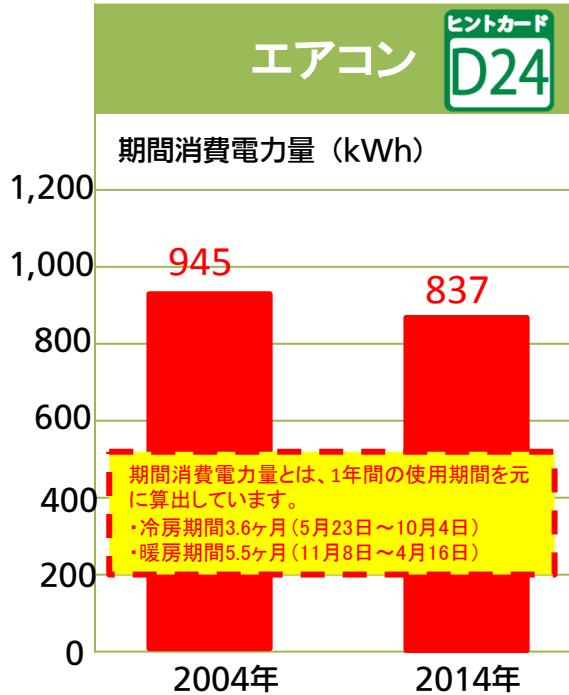
なぜ、家庭部門でエネルギー消費が増えているのか考えてみよう

【参考】業務部門はビル、事務所、コンビニエンスストア、デパートなど

家庭からのエネルギー消費が増え続けている背景には、1990年比べ世帯数が増えていること、くらしが豊かになり1世帯あたりの家電製品の保有台数が増えていることが要因となっている。



今と昔の家電製品の消費電力量を調べてみよう



昔にくらべ、今の家電製品はつかう電気の量が

(とても) 減っている

昔と今の製品をくらべて、消費電力はどうなっているか

(例) 1995年と現在とでは、家電製品は電気を使う量(消費電力量)がかなり減ってきている。

省エネ



- ・現在の家電製品は省エネ化が進んでいる
- ・しかし世帯数の増加に加え、昔は一家に一台しかテレビやエアコンがなかったが、今では一部屋に一台の設置になるなど生活が変化し、家電製品の使用量が増加している
- ・それにより、家庭でのエネルギーの消費量が増加している
- ・だからこそ、私たちがすぐに取り組むことができる省エネ行動がとても大切である

省エネ行動チェック表：自分の省エネ行動をふり返り、新しい省エネ行動を取り入れよう

すでにやってる省エネに○、これからやりたい省エネに◎をつけよう。あいているところには、自分で考えた省エネ行動を書こう。○と◎を各1点として省エネ行動の目標点数を出そう。満点を目指して1週間チャレンジしよう!
チャレンジするときはお家の方と相談しようね

チェック	省エネ行動
(例)◎	冷ぼう(エアコン)を使うときの設定温度を1℃上げる または、だんぼう(エアコン)を使うときの設定温度を1℃下げる
○	テレビはつけっぱなしにせず、見ていないときは消すようにする
○	人の居ない部屋の明かりはこまめに消すようにする
◎	例)冷ぞう庫からものを取り出すときは、何を取るか決め手から開け、すぐに閉める
○	例)部屋のカーテンを閉めて冷房(暖房)の効きを良くする
	ヒントカード D04 D05 D06 D07 D08 D10 D11 D12
	ヒントカード D14 D15 D16 D24 D21 D23 D22 D25
	ヒントカード D26
5 点	省エネ行動の合計点数

【7日間チャレンジのやり方】

省エネを意識した生活を習慣化するよう、目標を決めて、まずは7日間チャレンジを行う。

①普段の省エネ行動を振り返り、すでにやっている省エネ行動に○と、これから行いたい省エネ行動に◎をつける。

②さらに自分で考えた省エネ行動を書かせる。その際、省エネ行動は習慣化することが大切なので、無理なく続けられる省エネ行動を設定するようにする。

③○と◎をそれぞれ1点とし、その合計点が1日の目標点数となり、その7倍(7日分)がチャレンジの目標点数となる。

※本サイトでは、家庭でのエネルギー消費の多くのウェイトを占める4大製品(冷蔵庫、照明器具、テレビ、エアコン)を中心に家電の上手な使い方(省エネ行動)を紹介しています。左記のヒントカードをご覧ください。



1週間省エネ行動チャレンジ：毎日省エネできるかな？チャレンジしよう！

【チャレンジのやり方】

①前のページで決めた省エネ行動を1つ1点とする。②毎日、できた省エネ行動の数（点数）を記録する。③7日間の合計点数を計算する
チャレンジするときはお家の方と相談しようね

チャレンジ期間

2015年 8月 1日～ 2015年 8月 7日（7日間）

1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目
5点	5点	4点	5点	3点	4点	5点

1週間のチャレンジ期間を設け、省エネ行動を意識的に行う
自分で設定した省エネ行動を点数で評価し
毎日の省エネ行動を達成度を振り返る

1週間の合計	
31点	35点

チャレンジしてみて気づいたこと、むずかしかったこと、工夫したところなど



三 この研究でわかったこと

調べて分かったこと、考えたことをまとめよう。

各ページの自由記述欄に書いたことをまとめる。

例) 家電製品は、昔に比べて電力消費量が減っている。

しかし、家庭のエネルギー消費は増えている。

それは、家の中のエアコンやテレビの数が増えたり、今までになかった新しい製品が出たりしているためだと思う。

しかし電気を使わない生活を送ることは難しいので、省エネに気をつけた生活を送ることが大切である。

三 感想

研究をやってみて難しかったところや、思ったことを書いてみよう。

宿題のためだけでなく、普段の生活で省エネ行動を続けていくことが望ましい

例) 使っていないテレビや照明は消すなど、簡単なことから省エネできることが分かった。

これからも省エネに気をつけて生活したい。